

## 熊本市と九州旅客鉄道株式会社の包括連携協定の締結について

熊本市（市長：大西一史）、九州旅客鉄道株式会社（以下「JR九州」、代表取締役社長執行役員：古宮洋二）は、令和8年（2026年）3月31日、以下のとおり包括連携協定を締結しました。

### 1. 協定締結の目的

半導体関連産業の進出に伴うJR豊肥本線の乗車人員増加や熊本県による空港アクセス鉄道の整備及びJR豊肥本線の輸送力強化、駅周辺開発等が進むなど、JR豊肥本線を取り巻く環境が大きく変わっています。そのような状況の中、安全で快適な移動の提供や地域課題の解決等を通じて、沿線人口・交流人口の創出による持続可能なまちづくりに貢献するために、熊本市とJR九州が多様な分野で包括的な連携と協力関係を築き「鉄道交通を主軸とした共創のまちづくり」の推進を図ります。

### 2. 連携協定の概要

熊本市およびJR九州は、以下の項目について連携し協力して取り組みます。



### 3. 具体的な取組および検討内容

#### ①【南熊本駅】都市圏南部の玄関口「交通拠点の復権」

交通の要衝である南熊本駅において、交通結節機能の抜本的な強化を目指します。具体的には、駅前広場のモビリティハブ化や駅南側からのアクセス等について検討します。あわせて、拠点性向上に向けた将来ビジョンの検討を共同で進め、南熊本駅周辺の総合的なまちづくりを推進し、豊肥本線の更なる強化のみならず、駅周辺への人流や賑わいの創出、中心部の混雑分散など、多面的な効果につなげてまいります。

#### ② 熊本駅新幹線口駅前広場のリニューアル

陸の玄関口である熊本駅の利便性及び安全性の向上、更には駅周辺の混雑緩和を図るため、新幹線口駅前広場の全面リニューアルを推進します。

#### ③ 跨線道路橋の維持管理効率化

全国的な技術者不足やインフラの老朽化が社会課題となる中、持続可能な交通インフラの構築に向けて、熊本市管内にある跨線道路橋等を対象に複数年度にわたる包括的な維持管理の実現に向けて検討します。

#### ④ 新幹線を活用した定住人口増加施策

熊本市が目指す「上質な生活都市くまもと」と九州新幹線の中心に位置する熊本駅の立地を活かし、定住人口増加施策を検討します。定住人口や交流人口の増加、さらには九州全体の経済活性化を牽引することを目指します。

## 鉄道交通を主軸とした共創のまちづくり



短期施策を着実に実行しながら中長期施策を具現化し  
「鉄道交通を主軸とした共創のまちづくり」を目指す

※本プレスリリース記載の画像はイメージです